

<資料> 具体的な研修内容

## ●看護技術

- ・採血やルート確保の実践的な研修

- ・採血、点滴ルート確保

- ・採血技術

- ・摂食嚥下 皮膚排泄

- ・超高齢化社会が進む一方で、在宅医療がより必要とされていることをひしひしと実感します。

ですが、在宅や施設など病院以外の勤務は看護職の配置も少なく、聞ける相手や相談する相手もない中で判断を求められて不安を感じる事も多いです。

急変対応などももちろん、看護の知識や技術を高められる研修の機会や場がもっと増えて欲しいと思っています。

また、特養や老健、訪看やデイなども実際に見て仕事の内容などを体験する機会が欲しいと思います。

- ・点滴の仕方

- ・心電図

- ・心電図、内視鏡介助、視力検査、聴力検査等の検診業務

- ・採血

- ・採血

- ・看護技術の基本を再確認したいと思っています。

- ・採血・輸液管理

- ・採血、点滴、心電図の手技

- ・採血

- ・採血、サーフロー

- ・心電図

- ・点滴やサ-フロー挿入など

- ・心電図の読み方、看護ケア、技術の向上

- ・心電図

- ・採血、静脈点滴

- ・点滴

- ・感染対応、救急対応

- ・フットケア

- ・静脈ルート確保

- ・気管切開している方の吸引、膀胱洗浄

- ・サーフロールート確保

- ・心電図の取り方や採血など基本看護技術

- ・採血

- ・清拭や排泄介助、体位変換、食事介助、移乗など。

- ・導尿

- ・点滴ポンプの使い方、静脈留置針(サーフロー)の手技

- ・点滴の技術練習がしたいです

- ・感染対策

- ・手技確認、アセスメントする知識

- ・採血手技

- ・外来看護 採血、筋肉注射の技術

- ・心電図取り方
- ・注射の技術
- ・10年以上、筋注、皮下注射をやっていないので自信がありません  
昨年研修に家庭の事情があり参加できませんでしたので今年また、筋注、皮下注射の研修も是非お願い致します
- ・点滴方法の技術
- ・点滴留置、採血
- ・採血・静脈注射・点滴ライン留置の技術研修
- ・点滴
- ・静脈注射、ルート確保
- ・採血、サーフロ留置、電子カルテ
- ・12誘導　サーフロ挿入
- ・採血
- ・看護技術
- ・輸液、輸液ポンプシリンジポンプ、採血、注射、看護ケア、最新の看護技術、最新の看護知識、病棟やオペ室で必要なこと。最新の薬剤に関する知識、エンゼルケア、褥瘡、医療安全、電子カルテ、緊急(救急)処置 etc.
- ・病棟でルーティン化している技術
- ・インスリン注射
- ・採血
- ・採血、点滴
- ・注射、点滴
- ・採血
- ・ルート確保
- ・フットケア
- ・採血、注射
- ・フットケア
- ・浮腫けあ
- ・健診の心電図の取り方や胃の内視鏡介助など
- ・静脈確保
- ・基礎の看護技術
- ・点滴
- ・患者、個々のケア。ストーマとか
- ・採血、点滴　手技
- ・応急手当(小児を含む)
- ・注射、輸液管理、心電図、胃カメラ介助
- ・留置針でルートを取る
- ・呼吸のフィジカルアセスメント研修
- ・褥瘡研修
- ・フィジカルアセスメント
- ・レスピレーター
- ・急変時対応

- ・採血、心電図
- ・看護技術の再研修
- ・採血、注射、感染予防
- ・採血 末梢ルート留置
- ・採血、ルート確保
- ・胃瘻、褥瘡などの介護施設で必要な処置
- ・褥瘡ケア、コロナによる、感染対策
- ・採血、点滴、吸引、ストーマケア、胃瘻などに対する処置の手順、再確認
- ・ブランクがある場合採血、ルート確保の研修参加ができると良いと思います。
- ・点滴
- ・採血、点滴
- ・人工呼吸器の研修
- ・採血、ルート確保
- ・緊急対応
- ・採血、点滴
- ・フットケア
- ・実技演習 採血を臨床時代行ってこなかったため、新規でもシミュレーターなどで練習したいです。
- ・採血や点滴
- ・採血、点滴、導尿、サクションなど
- ・侵襲的処置の手技
- ・採血、ルート確保
- ・褥瘡ケア
- ・急変時の対応
- ・卒後 20 年、臨床未経験のままでしたが、最近クリニックに勤務が決まりました。現在、業務中に看護技術を教えて頂いていますが、ナースプラザでも是非フォローを頂きたいです。器具がありましたら採血の実習を経験したいです。
- ・採血 血管確保(サフロ)
- ・点滴技術
- ・看護技術 点滴
- ・感染対策に関しての具体的対策。実演。
- ・採血、ルート確保
- ・救命
- ・助産技術
- ・救急看護
- ・ブランクが長かったので、その期間をうめるための勉強がしたいです
- ・全ての科に係る内科系や外科系の基礎知識を学べる研修
- ・採血、点滴研修
- ・ルート確保の研修、電子カルテの研修
- ・看護技術
- ・採血
- ・採血や心電図の技術的な手技の研修を希望
- ・コロナ禍から変わった感染予防などに伴う清潔動作や手技

- ・看護技術として感染症対策、エンゼルケア
- ・点滴留置針、輸液ポンプ
- ・真空管採血
- ・サーフロー挿入
- ・酸素ボンベの取り扱い方、ブランクがあると自信がない
- ・心電図
- ・フィジカルアセスメント研修
- ・高齢者に多くみられる皮膚トラブル、嚥下困難、急変の見方 etc
- ・急変対応
- ・静脈注射（採血・サーフロー）、心電図
- ・心電図つけ方、胃カメラ処置
- ・看護技術(特に採血・点滴)の研修。開催回数、募集人数を増やしてほしい。
- ・拘縮予防のマッサージ、リハビリのやり方の研修があれば嬉しい。
- ・清潔操作、PT と NS の間での消毒のタイミング
- ・採血・輸液・吸引・移乗・入浴介助・胃ろう・ストーマケア
- ・採血、酸素ボンベの扱い他
- ・シリンジポンプ、輸液ポンプの実践、輸血のデモンストレーションと実践、実技を行える研修があると良い。

#### ●最新の看護ケア・医療技術・医療機器に関する情報

- ・電子カルテに触れてみよう。胃ろうの方法を実践してみよう。
- ・医療技術。前は医療ドラマに突っ込むことが多かったが、今では逆に教えてもらっている感じです。
- ・各科での、最新治療法、導入機器の使用法、などの技術に対するビデオ。  
また、最近の医療事故対策、モンスターPT への対策、などの研修。
- ・医療安全 臨床から離れている間の変化など
- ・最新の医療技術、電子カルテについて
- ・現代新しく養成所されている新人看護師が受けている学校教育を学ばせて欲しい
- ・医療機器の使い方
- ・医療機器の取り扱い
- ・最近のエビデンスに元づいた看護技術
- ・投薬、看護技術に関するエビデンスの変更点
- ・最近の医療現場、採血
- ・1994年に専門に入学した時と、カリキュラムが違いすぎることを、教科書を買ってみてわかった。  
再就労するなら技術からでなく、新しく医学、治療、また福祉制度の知識をアップデートする必要があるが、それができる場所がない。新人さんのほうが使えると思う。ただでさえ忘れていたのに、就労の前にできる勉強をしておきたい。
- ・補液の皮下注射、在宅で必要な看護技術や制度
- ・医療技術
- ・今どきの機器類の使い方、メジャーな薬剤等の使い方等
- ・呼吸器、機器関係、レスピレーター
- ・復職に関すること
- ・訪問看護 爪 ケア

- ・医療機器に関する情報
- ・医療技術や物品の使い方など
- ・皮膚疾患
- ・特定行為
- ・看護師の知識や技術の変わった事、変わってきている事について
- ・医療安全や感染など、最新のものについて"
- ・看護の動向
- ・感染対策、最新の癌治療
- ・感染症対策の最新版
- ・呼吸器を含む医療機器の取り扱いについて
- ・デクビの処理や創処理（処置）の最新の方法。医療安全や感染対策 最新の情報。
- ・フットケア、アロマセラピー
- ・福祉施設は最新のケア・治療・薬剤・安全に対する情報が少ないので、補える研修があればと思います。
- ・先に発生したコロナ感染症など、その時ヒットした医療情報など

#### ●医療安全に関する知識

- ・医療安全に関する研修  
インシデントが多い事例で未然に安全に留意できること。ベテランナースからのアドバイス等。
- ・医療訴訟（Ns が訴えられたケース etc）

#### ●電子カルテや IT に関する知識・技術

- ・Excel と Word
- ・電子カルテの使用方法
- ・電子カルテ
- ・電カルを使いこなしたいです
- ・電子カルテの使い方
- ・電子カルテ IT
- ・看護職に求められる IT 技術
- ・電子カルテ
- ・Word、Excel の基本操作
- ・電子カルテ
- ・電子カルテの使い方が知りたいです。
- ・統計などに必要なパソコンのスキルアップ研修
- ・電子カルテのあつかい
- ・IT の研修等
- ・エクセルを使用したデータかんり
- ・PC やタブレットでの報告書作成、他の医療・介護・福祉機関との連絡など
- ・高齢になると、電子カルテに対応できないと言われ、イヤな顔をされる
- ・電子カルテ
- ・電子カルテ
- ・電子カルテ
- ・PC 入力などの技術的な研修

- ・心電図の機械操作や電子カルテ入力方法等
- ・パソコン操作が難しく苦手な為、機会がありましたら指導を受けたい。
- ・私は67才ということで電子カルテや医療機器に苦労しました。今はあまり必要ない所にパートで勤めています、カルテや医療機器の講習の研修です。
- ・パソコン

●保健医療福祉制度に関する知識（医療福祉制度・政策の動向、診療報酬制度など）

- ・健康経営
- ・看護必要度の意義、特に病棟看護師の役割について。DPC 加算算定との関連性。
- ・現時点での医療政策・制度上の重要課題
- ・看護必要度
- ・在宅看護に関する法制度保険制度
- ・診療報酬改定について
- ・2024 年度介護医療保険改正のポイント
- ・介護保険制度について
- ・診療報酬と具体的な看護活動について
- ・地域職域連携
- ・関係法規関連
- ・介護保険とサービスについて
- ・政策、診療報酬制度
- ・診療報酬改定に関する研修
- ・産業保健、企業内看護師としての役割と新たな社会での保険指導、働き方改革にあわせた指導内容

●医療機関・福祉施設での見学実習

- ・今は同じ看護小規模多機能の介護施設見学
- ・見学実習
- ・病棟や施設の見学
- ・老人保健施設や特養等の見学、体験などを希望して、働ける時間に融通がある働き方を模索していきたい。
- ・病院の見学
- ・その病院ならではの特別ルール(病院内や部署の決まり)
- ・介護・福祉施設
- ・老健、回復期リハビリテーション病院、療養型病院、訪看、看多機の見学、実習。
- ・職場体験、見学
- ・訪問看護ステーションでの実習

●専門分野に関する知識・技術

- ・緊急時トレーニング、産業保健師研修
- ・精神看護
- ・カメラの介助や消毒方法、透析介助
- ・メンタルヘルスの健康教育など保健師就業に関わる内容

- ・小児科クリニック看護
- ・介護に必要な処置
- ・企業等医務室・トラベルナース等施設外で就労する看護職向けの研修（例：施設前救命講習、最新のエビデンスに沿った外傷処置方法、（自身の）労働条件・環境のあり方や改善）
- ・産業保健研修
- ・最新の感染管理
- ・内視鏡の看護
- ・認知症、ユマニチュード
- ・保育園看護師に必要な知識、技術
- ・糖尿病治療について、画像の見方について
- ・保健師に関する実習を希望します
- ・在宅に向けての支援
- ・オペ看に関する知識と技術
- ・高齢者施設での介護職との関係
- ・心理、身体緩和ケア
- ・小児疾患の鑑別
- ・感染対策
- ・感染予防対策
- ・呼吸器管理
- ・看取りについて
- ・デイサービスに必要な知識と技術
- ・個別の疾患のケア
- ・退院支援
- ・現在のコロナに対する感染対策や、濃厚接触者になった時の勤務のこと。
- ・小児在宅支援、在宅レスパイト、地域保健にはどのような支援があるのか？（難病患者や小児遺伝性疾患など）
- ・感染防止について
- ・訪問看護ステーションが増えてきているので、訪問看護の研修を次は受りたい。
- ・認知症予防に関する研修
- ・在宅における医療材料の持ち出しや薬局ができる対応にを含む研修。患者さんの自費になるものそうでないもの等わかりにくいいため。
- ・認知症対応
- ・高齢者のADL維持への取り組み
- ・外来支援
- ・訪問看護師
- ・地域福祉（地域包括支援センター）に関わる研修
- ・特別支援学級の看護師に必要な知識
- ・胃婁、経管栄養に関する知識技術
- ・カウンセリング技術
- ・高齢者施設で必要な看護
- ・訪問看護研修
- ・在宅支援療養支援

- ・訪問看護 精神疾患
- ・トラウマケア
- ・医療的ケアを必要とする子どもの看護
- ・内視鏡介助技術
- ・内視鏡検査の介助、病理検査の必要な知識
- ・緊急時の対処 高齢者の歩行訓練
- ・糖尿病看護
- ・産業看護職関連、健康診断結果による食事指導関連
- ・認知症ケア
- ・終末期ケアについて
- ・保育園などでの医療的ケア児の受け入れについて
- ・認知症ケア
- ・新生児・小児の分野での研修(実際には殆どみかけないので)
- ・感染について
- ・長期的な災害医療の治療、ケア
- ・病院以外での看護業務の実際
- ・周産期関連
- ・訪問看護における認知症対策
- ・災害看護
- ・学校保健、産業保健
- ・養護教諭研修
- ・産科における超音波診断の技術と判読・診断
- ・周術期
- ・訪問看護
- ・心機能、肺の機能が低下した方の看護
- ・訪問看護について
- ・透析看護
- ・在宅医療看護の研修
- ・小児、皮膚ケアなど
- ・肢体不自由児のケアの実際
- ・福祉
- ・小児看護
- ・認知症高齢者への対応など
- ・介護施設
- ・知的障害者へのケア
- ・化学療法
- ・災害時の医療・看護体制を被災地から学ぶ
- ・保健室研修
- ・認知症対応
- ・終末期ケア
- ・知的障害など福祉の看護
- ・災害時の訪問看護での対応について

- ・ケモ、糖尿病、認知症などの基本的な薬や最新の情報
- ・透析看護、小児看護
- ・新生児期の注意点
- ・医療的ケア児の看護技術
- ・災害看護
- ・終末期対応
- ・福祉施設での看護師業務
- ・介護現場での看護師の役割について
- ・呼吸器 NPPV について、抗がん剤治療について
- ・救急医療
- ・がん看護について
- ・メンタルヘルス
- ・認知症ケア
- ・産業看護師研修
- ・訪問看護に必要なスキルについて
- ・介護施設での看護師の役割
- ・産業看護職の研修
- ・災害時
- ・内視鏡時の看護
- ・腎疾患
- ・アレルギーに関して
- ・精神訪問看護
- ・医療的ケア児
- ・化学療法に関する（薬剤の知識や看護について）
- ・感染対応（ノロ、コロナ他）。病院以外で細分化してどのような対応を行っているのか知りたい。
- ・化学療法、トロツカーの介助
- ・精神科
- ・終末期の看護及び技術等
- ・在宅看護で多い疾患の治療法、医療知識、機器、看護ケア技術の研修
- ・呼吸リハビリ、摂食嚥下について実技研修、KT バランスチャートを使用した研修
- ・病院や医療機関にいる看護師は医療指導や知識が必要で専門性を高められるが、介護や保育などにいる看護師の専門性を高められる研修が必要と思う。
- ・訪問診療に係る研修
- ・在宅ケアの実際、チームケアの実際、在宅ケア、訪問介護で重要視されること
- ・感染対策(ゾーニングなど)
- ・内視鏡に関する知識・技術、認定 NS、専門 NS の情報・知識
- ・認知症だけでなく精神疾患についてのアセスメントについて研修したい

#### ●その他

- ・メンタルヘルスに関する研修。看護師として働き続けるための、心身のケアの方法。
- ・院内での他のスタッフへの教育

- ・看護師としてやる気が向上する公演があれば参加したい
- ・接遇
- ・接遇
- ・看護管理
- ・休職復職制度の最新情報
- ・管理者の為の研修、人材育成
- ・倫理
- ・医療現場以外のナースに対する研修

企業や教育、保育所などで保健の立場として務めている看護師も多いと思います。保育業界からの研修はありますが、看護からの研修もあっていいと思っています。

- ・人材活用や教育(課題のあるスタッフの効果的な育成)
- ・ハラスメントに対する対応
- ・eラーニング
- ・法律、上司を訴える方法
- ・保健師に対する研修など 医療英会話等の研修
- ・転職するにあたり必要となる最低限の研修を知りたいです
- ・接遇
- ・嫌な職場の方や、新しい職場での態度など対人関係についての知識を得たい
- ・看護記録
- ・ハラスメントや性的配慮に対する考え方などについて
- ・円滑に業務を進めるためのコミュニケーション術を習得したい
- ・代替医療に興味があり
- ・医療現場における英会話
- ・安全管理者の動き方
- ・英会話
- ・クレーム対応に関する研修
- ・医療英語等の研修があると今の医療に活かせると思いました。有料でも受けたい
- ・メンタルヘルス対策の最新情報
- ・接遇
- ・統計手法、データサイエンス、チャット GPT の仕事での活用法
- ・行政が使うプログラムに関するもの、エクセル、チラシの作り方など
- ・セルフネグレクトへの対応
- ・年齢で制限があると思います。未修の科目でも可能かな？と思います。メンタルの研修が必要だと思います。
- ・看護師が働ける場所が広がっています。フリーランスも含めいろいろな働き方を紹介いただければと思います。(海外での働き方、その為の方法など)
- ・設問 14 にあるような研修で、1日 or 2日かけてやって欲しい
- ・他業種と比較し、医療福祉業界だけが群を抜いていじめが多い研究結果があると聞いた。常に 15~20%を推移しているという(ここ 10年連続)。過去最高だった IT 業界は対策を講じたことでワースト 1 位だったが、現在は数%まで下がり、医療福祉の職場いじめだけが取り残されている。効果的な対策を知りたい。
- ・もっと掘り下げたもの。現場の意見や、もっと分かりやすいものがない。